

8/27  
まで

市立郷土資料館特別展示

高畑町遺跡展

出土木器と古墳時代の津門遺跡群

古代の資源再利用(リサイクル)を目撃する

市立郷土資料館では、開発事業に伴い発見された高畑町遺跡について紹介する特別展示を開催しています。

開催日時 8月27日(日)までの午前10時~午後5時(入館は4時半まで。月曜休館)

高畑町遺跡とは…

津門大塚町遺跡とともに古墳時代の津門遺跡群の中核として形成された遺跡。全国的にも稀(き)少な5世紀後半の木器が出土しており、木器や木材を材として再利用することを念頭に集積されていたことなどが明らかになりました

出土した木器を一部紹介



竪杵(たてぎね)

高畑町遺跡では、同じ時期の13本の竪杵が出土しており、全国でトップクラスの出土量です。竪杵は臼とセットで脱穀に使用されます。形や長さも同じでも先端部分にそれぞれ特徴があります

編台(あみだい)

俵や蓆(むしろ)等を編むための台ですが、高畑町遺跡出土の編台は目盛が細かく、布を編むためのものです。目盛板と脚の接合部も当時の状態で残っており、全国的にも極めて貴重な資料です



関連事業を開催

- ①学芸員による展示解説 各回受付は15分前から  
【日時】7月29日(土)、8月9日(水)・19日(土)の午前10時15分~
- ②特別講演会  
「高畑町遺跡出土木器と古墳時代の津門遺跡群」  
【日時】8月5日(土)午後1時半~
- ③学芸員講座  
「津門遺跡群でみつかった奈良・平安時代の大型井戸と出土品」  
【日時】8月9日(水)午後1時半~
- ④特別講座&展示資料解説  
「高畑町遺跡出土木器の保存処理」  
【日時】8月13日(日)午後1時半~

8/27まで  
パネル展示も実施

詳細は市HPで  
確認を



定員 ②~④各50人。当日先着順(受付は30分前から)

問 市立郷土資料館 (0798・33・1298) (HP) 87096527

環境学習都市宣言  
20周年記念事業

10/31まで

調査で西宮の生き物の生態を明らかに  
市民自然調査に参加しよう!  
「ウォッチング!西宮の自然×EWCいきものはっけん」特別編



パンフレットを  
発行しています!

市役所本庁舎1階総合案内  
所横、各支所・市民サービ  
スセンター等で配布中!

市は、環境学習都市宣言20周年を記念して、市民参加型の自然調査「ウォッチング!西宮の自然」を実施しています。この調査は、期間中に市指定の生き物を発見した際、場所を報告してもらうものです。市内にすむ生き物の様子を明らかにするため、ご協力よろしくお願いします。

【調査期間】10月31日(火)まで 報告締切は11月30日

【参加対象】誰でも参加可 【調査対象】市内で見られる43種の生き物

調査対象の一例



小学生対象

「自分だけの生きもの図鑑」をつくろう!

調査に参加した小学生は「自分だけの生きもの図鑑(電子データ)」を作成できます。今回の調査対象だけでなく、見つけた生き物を追加して、調査期間終了後も図鑑を作り続けることができます。

調査はEWCエコスタンプ対象です。  
スタンプもゲットしよう!

調査に参加してみやたんの  
オリジナル壁紙がダウン  
ロードできるよ!

調査対象や報告方法など、詳しくは  
「未来につなぐ 西宮の自然」ホームページから



問 花と緑の課 (0798・35・3683)

多文化共生を考える

『人権文化の花咲くまち 西宮』を目指して  
多様な視点から学ぼう!

問 秘書課 (0798・35・3459)

共に生きるビジョンが  
実る畑



「外国人」という言葉で、あなたの頭に浮かんだ光景はどんなものですか。街で見かけた人、同僚、配偶者、テレビ番組の出演者、ニュースの事件で話題の人等、同じ言葉でも、人が思い浮かべる光景は変わる。 「外国人」「多文化共生」という言葉で、私が真っ先に思い浮かべた光景は、晴れた空の下にどこまでも広がるキャベツ畑とそこで作業する地元住民に何か尋ねている外国人女性の姿、そして人々の穏やかな信頼感のある笑顔だ。

私が参加した交流イベントのスピーチで、ニュージールランド出身の女性が自身の経験を語っていた。石川県に10年住んで英語の教師をしていることから始めて、来日した理由や地域の自然や食材が気に入っていること、子育てのための医療補助が充実していること等々そして、町の良いところをウェブサイトで海外の人たちにシェアしたいと。

漫画家・タレント  
星野ルネさん

1984年カメルーン生まれ。4歳の時に母の結婚に伴い来日し、姫路市で育つ。ツイッター上で発表していた自分の日常のエッセイ漫画が話題となり2018年8月に『まんが アフリカ少年が日本で育った結果』(毎日新聞出版)として出版。毎日小学生新聞にて「アフリカ少年! 毎日が冒険」を連載

